



香取市初の女性模擬議会に参加の
皆さんと河野さん

清流

河野節子を育てる会

千葉県香取市小見川1025
電話 0478(83)1928
発行責任者 和田 澄子

ホームページ
<https://kohno-setsuko.com/>



四月に入ってから寒暖差のかなりある日が続きました。皆様いかがお過ごしですか？春という入学、入社だけでなく何かを新しく始めたりする門出の季節です。又、どこのお宅の庭にも赤・黄・ピンクと明るい色のお花が咲き、自然と心が和んできます。桜の花も、寒かった日が多かったお陰で例年より花持ちが良かったように思います。市外の桜の花と藤の花を見学するチャンスがありました。桜は長野県に行きました。高遠の桜は一週間位早い感じでした。上田城址の桜は満開で素

晴らしく感激しました。藤の花は足利フラワーパークに行きました。こどもダイナミックな藤の花、素敵でした。お花は本当に人の心を癒してくれます。令和七年度に入り市としても沢山行事があると思います。気候も良くなり、活動し易い頃となりました。皆様もお忙しい日々を過ごされる事とします。お体に気をつけて御活躍下さいませ。
「清流」第101号をお届け致します。
和田

令和7年3月議会報告

3月定例議会は、2月25日から3月21日までの25日間の会期で開かれ、提案された54議案と諮問2案件についてすべて可決されました。議案12号から14号については、一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算、及び水道事業会計補正予算で、先議を求められたため、議会初日に採決、可決されました。

一般会計補正予算については、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億814万8千円減額し、予算の総額を396億483万7千円とするもの。

主な内容は、

- *減債基金積立金—1億2592万7千円
- *公共施設整備基金積立金—5億円
- *ふるさと香取応援基金積立金—2億円
- *国民健康保険事業特別会計繰出金—3121万9千円
- *保育運営委託料—1億606万8千円

- *道路維持事業—1200万円
- *道路新設改良事業—2950万円
- *公園維持管理費（遊具、施設修繕）—450万円
- *地域防災対策事業—847万8千円
- *海洋センター【B&G】管理費（修繕工事）—1220万2千円
- *スポーツセンター【スポコミ】管理費（機械器具購入、施設改修）—447万7千円
- そして事業が実施されなかったり、縮小して実施したりして、予算が減額となった主なものは、
- *産科クリニック誘致事業（病児保育・産後ケア）—△5951万円
- （施設整備奨励金、地盤整備奨励金）—△1億9千万円
- *新型コロナウイルス予防接種委託料—△9787万3千円
- *上水道事業（安全対策、水道施設統廃合事業出資金）—

- △7億6556万8千円
- *ごみ処理施設運営費（香取広域市町村圏事務組合負担金）—△1億6032万4千円
- *米政策改革事業—△6067万7千円
- *園芸農産振興対策事業—△8697万4千円
- *土地改良事業—△4018万円
- *サンブスギ林総合対策事業補助金—△1155万2千円
- *災害に強い森づくり事業補助金—△1078万4千円

新年度予算の主な内容

令和7年度一般会計予算の総額は、382億4000万円です、前年度比16億8000万円4.6%の増。

学校給食費完全無償化実現

伊藤市長就任以来段階的に実施してきた給食費の無償化ですが、いよいよ7年4月から全学年を対象に無償化が実現します。予算額4億3159万1千円、財源は国の物価高騰対策交付金約1億2千万円、ふるさと納税で約1億2千万円、過疎債で3500万円を活用。

子育て支援策として、

- *こども医療費助成事業—2億3342万3千円
- *一か月児検診の無償化
- *妊婦のための支援給付金—3000万円
- *児童手当—11億1358万円（高校生まで拡充）
- *放課後児童クラブ運営事業—2億4121万3千円
- *公園遊具の再整備—3550万円

教育費

小中学校生徒が利用するタブレット更新に係る経費、

- *小学校コンピュータ整備—2億7266万5千円
- *中学校コンピュータ整備—1億5426万7千円
- *中学校体育館の空調整備（佐原中、小見川中の空調機器借上料—2344万8千円、他5中学校の体育館については設計業務委託料—2560万円）いずれにしても体育館について冷房装置が整備されます。
- *佐原文化会館の設備更新工事—1億6109万9千円
- （令和7年度から8年度にかけて音響、照明、舞台機構の設備更新）
- *山田中央運動広場、山田B&G海洋センター照明設備LED化工事—1億6915万8千円
- *部活動の地域移行については、現在市内6校の陸上部、1校（山田中）のソフトテニス部と1校（新島中）の剣道部が移行を行っています。

令和7年度は1校の柔道部が開始となる見込み。

国の方針では、令和6年度までに各学校から1部活を地域移行し、7年度には複数の部活の地域移行と同時に、今後完全移行するための計画作成を自治体に課しているのとことです。各自治体によって異なる地域の実情からしてかなり困難であると思います。

「書かない窓口」設置予定

らくらく窓口証明交付サービス端末一式（232万円）を導入し、コンビニ交付と同様にマイナンバーカードを利用して申請書が作成できるように本庁と支所の4か所に設置する予定です。

山田・栗源のB&G海洋センターにスポットクーラー7機を配置。災害時や平時にも使用可。

「水の郷さわら再整備工事」は、工事請負費他工事関係合計で3億2270万円。

「省エネ家電製品買替促進補助金」の予算は1200万円です、補助率は購入額の20%、上限額3万円の予定。（尚、香取市内の店舗で購入した場合は上限額を3万3千円）申請期間は令和7年5月中旬から。



香取おみがわ医療センター附属看護専門学校が閉校か??

1月21日香取おみがわ医療センターの寺野彰理事長より、伊藤市長あてに、「令和7年度学生募集（令和8年4月入学生）を最後の募集とし、附属看護専門学校を閉校とした」旨の申し出がありました。その後、2月18日の議会全員協議会において、担当部長より議会に対しての説明がありました。

その時点では、各議員から出された意見をまとめ、議会としては即閉校ということに対しては反対の意向が示されました。

一般質問でも看護学校についての質問がなされ、市長の意向が問いたされましたが、市長は「今回の閉校の申し出は、法人でも議論を尽くしたうえで申し出である」と理事長から伺っているので、残念だが法人の決断を尊重する」との考えを述べられました。

また、「議員の皆さんと医療法人との対話の機会を早々に設けられるよう調整する」との答弁でした。

そこで、3月24日看護専門学校において、寺野理事長、三上学校長、辺田教務長、篠塚看護部長、村田事務長列席の元、9名の議員が参加して、現場での意見交換を行いました。（出席議員は、久保木清司議長他、平野、高木、藤木、井上、成毛、木村、鈴木、河野の各議員）

香取おみがわ医療センター附属看護専門学校は、昭和61年4月に、准看護師を看護師に養成する2年課程の看護専門学校として開校し、今日まで39年間看護師養成に携わり、1100名もの卒業生を送り出しています。しかしながら、少子化や准看護学校が半減し、入学生数が減少。令和4年までは定員に対する充足率も92%から100%を満たしていたのですが、令和5年、6年と続けて24名の定員に対し、16名、15名という現象を辿り、来年度の入学予定者は一けたになってしまいました。

数年前、突如宇井前市長が看護学校を閉校する旨を議会の全員協議会で発表された折は、まさに新型コロナウイルス感染症が蔓延していた時期でもあり、どここの病院も看護師不足に危機感を募らせていました。さらに、地域医療を担う医師会や現場の医師は看護学校の閉鎖には不安を抱いていたこともあり、議会としても特別委員会を立ち上げ、調査研究を重ね、議論を尽くしたうえで市長に対し閉校を延期するよう求めた経緯があります。

その後、医療センターが独立行政法人化して就任された寺野理事長も、当初、看護学校を備えた病院は素晴らしいと学校の存続を前向きにとらえて尽力して下さったのですが、「この学校の形態が准看護学校からの生徒の受け入れをする2年過程の学校という特殊

性もあり、准看護学生そのものが減少傾向にあるため、今後、附属看護専門学校の学生が増える見込みがない。3年課程の看護学校についても検討したが、将来的に学生を確保していくことは厳しい状況にあり、法人として持続的運営を続けることは困難との判断をせざるを得ない」とのことでした。

香取おみがわ医療センターの看護師の離職率は平均で5・5人から6人という、他の病院に比べても非常に定職率が高い状況ですが、全国的に看護師不足の状況は変わらず、附属の看護学校生が毎年6名くらい病院に就職していたことを考えると、今後どのように看護師を確保していけるか代替案が求められています。

香取市は昨年12月議会で、条例を議決し、令和7年度から看護師や助産師などを目指し、将来市内に住み、市内の医療機関に就職することを条件に、奨学金を出す施策がとられています。また周知が足りません。

看護師教育が大学に移行されている現状から、香取おみがわ医療センターでも現在千葉科学大看護科の学生4人に奨学金を出し、実習生を受け入れているそうです。

また、小見川高校の医療コースの卒業生が将来地元で働けるよう、病院としても協力を惜しまないとのこと。約1時間にわたり充実した意見交換をさせていただきまし

たが、折しもその日は看護師の国家試験の発表日、会議が終わるやすぐに結果を伺うと、18人の学生全員が合格という朗報。大学でも全員合格というのは珍しいそうですので、いかにこの看護学校の先生たちが熱心に、そして丁寧に学生たちを育ててこられたかの証ではないでしょうか。

全国的に、ハードな仕事として看護師を志望する若者が減少しているという傾向にあるということに危機感を覚え、一度都会に出てしまうと中々地元に戻ってくる若者が少ないという現状を考えると、長きにわたり、地元において看護師養成を担ってこられた看護学校が無くなるということとは非常に残念極まりないことです。

医療センターの附属専門学校として、法人としては維持が難しくなっているわけですが、香取市が音頭を取って、医師会や広域的な運営主体を模索し、何とか地元での看護師養成学校を維持できないか、存続する為の議論がなされるべきではないかと思えます。

香取初、女性庁の提議会開催

1月30日、市民協働課の男女共同参画社会推進事業の一環として、香取市としては初めて、市民公募の女性18名（当日1名欠席）が議員として議場に集合。開会セレモニーの後、通常の議会の議事日程に沿って、

1 議席の指定、2 会議録署名議員の指名、3 会期の決定を行い、日程4 市政に関する一般質問に入りました。

私（河野）が議長を務めさせていただきましたが、7名の議員が登壇して日頃感じている市政に対する疑問や提言を堂々と発言し、各議員の質問に対し、市長、教育長、各担当部長の答弁があり、一問一答というわけにはいきませんでした。皆さんに議会の雰囲気味わっていた、ただのではありませんかと思えます。

傍聴席も普段の議会以上に埋め尽くされ、皆さんに関心を持っていただけたのではないのでしょうか。議会をより身近に感じていただき、女性の政治への参画を期待しています。

河野議員の活動報告

- 87年1月14日 商工会議所賀詞交歓会
- 18日 地区社協二人暮らし高齢者の集い
- 19日 ボランティア清掃
- 21日 視察対応 倉根県浜田市議会
- 22日 北総11市正副議長臨時会
- 23日 ライドシニア勉強会
- 24日 女性模擬議会リハースル
- 25日 愛育クリニック（水谷会）訪問
- 26日 市民参加カフェ
- 25 全国自治体議員行財政問題自主研究会（於、オリビックセンター）
- 26日 前田議員市政報告会
- 27日 県議長会研修（千葉オークラ）
- 30日 会派代表者会議
- 女性模擬議会議
- 2月4日 合併20周年記念事業準備委員会
- 7日 香取郡市正副議長会
- 8日 地区社協高齢者配食サービス
- 9日 桜プロジェクト中央小1年生と桜の植樹
- 桜プロジェクト感謝の集い（春本）
- 16日 ボランティア清掃
- 17日 白井市議会副議長通夜見舞い
- 18日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 20日 中央地区まち協交通安全集会
- 22日 稲敷市合併20周年記念式典
- 23日 桜プロジェクト役員会
- 25日 3月定例議会（3月21日）
- 27日 ライドシニア勉強会
- 3月4日 地区社協一人暮らし高齢者ひな祭り集い
- 5・6日 本会議（一般質問）
- 7日 千葉県議会議員補欠選挙出陣式
- 8日 小見川中学校卒業式
- 10・12日 予算審査特別委員会
- 13日 総務政策常任委員会
- 14日 小見川北小学校150周年記念式典
- 19日 中央小学校卒業式
- 21日 議会運営委員会
- 本会議最終日
- 行政懇談会
- 22日 防災の為の地域ミーティング
- 23日 神崎酒蔵まつり
- 24日 国際交流パーティー
- 24日 小見川医療センター附属看護専門学校にて意見交換会
- 4月5日 地区社協一人暮らし高齢者お花見の集い
- 6・7日 桜プロジェクト研修旅行（長野県、高遠城址公園、上田城）
- 8日 中央小学校入学式
- 小見川中学校入学式
- 9日 市川房枝記念会主催「87歳の青春」上映、講演会
- 11日 地区社協総会



ひき続き会員を募集しています。
年会費 1口1,000円
会費納入先
郵便振込 口座番号
00170-5-354961